

○「在宅緩和ケア研修会」アンケート調査結果

- ・実施日時：令和4年3月2日（水）18：00～20：00
- ・講師：TMGあさか医療センター緩和ケアセンター長 金井 良晃 先生
- ・受講人数：174名
- ・アンケート用紙回答 30名
- ・オンライン回答73名
- ・合計103名
- ・回答% 59.1%
- ・アンケート調査期間：3月2日～3月9日
- ・事前参加申込
- ・アーカイブ視聴：5名
- ・朝霞市：21事業所（57名）
- ・和光市：5事業所（8名）
- ・志木市：5事業所（9名）
- ・新座市：10事業所（15名）
- ・2次元コード：70名

1 事業所の所在地

	朝霞市	志木市	和光市	新座市	無回答	合計
人数	65	10	4	23	1	103
構成	63.1%	9.7%	3.9%	22.3%	1.0%	

2 職種

	病院	診療所 (訪問有)	診療所 (訪問無)	薬局	訪問看護 ステーション	居宅介護 事業所	合計
人数	18	7	2	17	20	20	
構成	17.5%	6.8%	1.9%	16.5%	19.4%	19.4%	
	通所系介護 サービス	訪問系介護 サービス	地域包括 センター	行政関係者	その他		
人数	3	2	6	1	7		103
構成	2.9%	1.9%	5.8%	1.0%	6.8%		

3 研修内容について

		理解できた	まあま理解 できた	あまり理解 できなかった	全く わからない	合計
1.自分で実践できる 緩和ケア	人数	52	45	5	1	103
	構成	50.5%	43.7%	4.9%	1.0%	
2.専門的緩和ケアの 実情・相談方法	人数	47	53	3	0	103
	構成	45.6%	51.5%	2.9%	0.0%	
3.よくある「困った」と 対処法	人数	39	57	7	0	103
	構成	37.9%	55.3%	6.8%	0.0%	

□時間

	長い	やや長い	丁度よい	やや短い	短い	無回答	合計
人数	6	21	71	2	0	3	103
構成	5.8%	20.4%	68.9%	1.9%	0.0%	2.9%	

□研修会に参加する前と比べての変化（複数回答）

	情報が 整理された	対処法が 理解できた	不安が 解消された	その他	合計
人数	46	46	9	4	105
構成	43.8%	43.8%	8.6%	3.8%	

- 薬剤のコントロールは大事だが、傾聴技術を活用しケアを行うことも大切であると思いました。
- 医療的な話は雑雑な感じでの理解にとどまりましたが、スピリチュアルケア・グリーフケアについては非常に理解が深まりました。
- 緩和ケアの現状が良く分かった
- 実際に緩和ケアに携わる医師の研修だったのでとても参考になりました。
- 2020年からの新たな疼痛ガイドラインの変更点がわかりやすかった。
- とても分かりやすく今後への仕事へ活かしていきたいと思いました。緩和ケア以外の患者様への対応に関しても同様な対応が求められると思いました。
- 音が途中で切れてしまいました。残念でした。外科医にも聞いてほしいですね。
- 多くの経験とエビデンスからの情報がためになった
- 音声のつながりが悪く途中理解困難に、具体的な対処方法は即実践できそうでわかりやすかったです。
- 在宅で癌末期の利用者に接する機会も増え、だるさ、呼吸苦、痛みなどの症状を訴えられる人がほとんどです。症状に対しての緩和はもちろんですが、心のケアスピリチュアルな面を傾聴することをもう一度考え日々実践していきます。ありがとうございます。
- データーをたくさん出していただいたのでしっかり理解したい部分もあり、通信の問題が?残念に思いました。
- せん妄についてよくわかりました。
- 診療しながらの参加だったので部分的にしか見られませんでした。この時間だと1/3も見られませんでした。内容は良かったと思います。金井先生に感謝申し上げます。
- 実際の現場での話で理解が深まり自分でできるものがあり実践していきたいと思いました。
- web研修だったため時々声の聞き取りに憂いところがありましたが、今後関わっていく中で利用者さんの気持ちのくみ取りにつなげていきたいです。
- 事例をいくつかあげて頂けるとより分かりやすくなったかなと思います
- 声が聞き取りづらかったのがとても残念でした。(2)
- 実例の説明で理解しました。
- 緩和ケアにおいて疼痛の緩和と共に心理面への介入の重要性が学べました。薬に頼るだけでなく、その方が抱えている不安や思いに寄り添っていききたいと強く思いました。
- 開始時間が18時というのは業務が終了していなかったので前半部分はほとんど視聴できなくて残念でした。もう少し開始時間を遅くしていただくと助かります。
- とても良いお話しの途中聞き取りにくい場面が数回あったのがとても残念でした。
- がんの経過と疼痛管理を詳しく説明していただき以前より少し多く理解を深められたと感じます。薬の内容は難しかったです。
- 緩和ケアの役割として在宅ケアと十分つながっていると感じ今後の支援に生かしたいと思いました。ありがとうございました。
- 朝霞地区内で真摯に取り組んでおられるチームの存在を知り、大変うれしく思いました。
- 訪問看護ステーションにとって非常にタイムリーな内容でした。傾聴の技術は特に参考になりました。
- MCSで私たち(訪看)に知識を教えて、ご指導して下さったりいつもありがとうございます。
- 療養者さんと関わる事への不安が少し軽減されました。
- 疼痛治療をすることで起こる体の変化やせん妄などの変化があることを理解しより深く傾聴から糸口を引き出すことができるように心がけたい。
- 途中、ネットの影響なのか、聞き取りづらさがありましたが、何とか繋がることができました。内容も専門用語もありましたので、自分ももっと勉強したいと思います。ありがとうございました。
- 大変勉強になりました。今は麻薬も選択的になり、より安楽に過ごせるようになっているのですね。
- 麻薬以外のお薬について、痛み止めにも、吐き気止めにもなる、使い方等普段聞くことができないお話を聞くことができ勉強になりました。痛みら訴えについて、ガンの末期であっても、何の痛みなのか考え、理学療法を使う場合もある、というお話を聞いて、在宅診療に訪問リハビリがくっついている理由も解った気がしました。ありがとうございました。
- 専門的な知識不足で、理解に難しい事もありましたが、とても勉強になりました。緩和センターを身近に感じました。今後、緩和ケアの利用者様のプランを受け持つ際に参考になりました。
- 新型コロナの影響でなかなか大人数でのカンファレンスの参加が困難な状況ではありますがMCSの活用や日頃から相談しやすい関係づくりなどを図っていききたいと思います。またコロナ禍でも利用者(患者様)やご家族様の思いをしっかりと聴き寄り添えるように支援をしていきたいと思いました。大変ありがとうございました。
- 金井Dr.のお名前は以前から有名です。どんな方かご尊顔を拝見したかったのが一番の動機でした。講義の前半はなんとか付いて行けたのですが…後半はちょっと付いていくのがしんどかったです。自らのご利用者様が緩和ケアが必要になる場合もあります。その節は是非担当して頂けたらと存じます。有難うございました。
- 緩和ケアに関して担当の医師から様々な情報をいただいた事に感謝いたします。今後の私自身のステップとしてとても参考になるお話でした。
- とても聞き応えがあり、明日からの患者様対応の参考にさせていただきます。ありがとうございました。
- 日頃から、末期のがん患者様の在宅での支援に携わる中で、かわり方に迷いを感じる事が多くあります。画一的ではなくても、今回の研修内容を知識として得たことで、ほんの少しだけ根拠あるかわりができるような気がします。ありがとうございました。

- 現在、まさにガン末期の利用者様を担当し始めたところなのでどのテーマについても参考になりました。ケアマネである自分ができることはコミュニケーションだけなので今日お聞きしたことを念頭におきながら丁寧にかかわっていきたくと思っています。度々音声が届いて聞きづらいつとところがありました。
- 難しい内容をとても分かりやすく説明して下さいました。自分はい結論や解決策を見だしたくなります。傾聴とはどういうものかも一度勉強したいと思います。
- 緩和ケアについて、丁寧に説明いただき、ありがとうございました。スピリチュアルペインに対するケアは、医療者でなくても支援できる内容があることがわかりました。自身でできることを考えていきたくと思いました。
- わかやすく勉強会になりました。ありがとうございました。
- 4市で今後も地域ケア会議などしていただけると助かります
- 市民の方向けに緩和ケアについての勉強会や講演会をしていただきたいと思いました。
- キューブラー・ロスの名を久々に聞いた気がします。なんとなくそんなような…と覚えていたことが、今になって学びなおしてそんなに大事なことだったのだと気づきました。傾聴は特に道具もいらずに始められることなので、積極的に行っていこうと思います。
- 声が聞き取りにくかった。研修内容は、とてもためになりました。
- 痛みの緩和を色々な観点から捉える事はもちろんのこと、せん妄による訴えか疾病によるものかを把握する事の必要性や、スピリチュアルペインの緩和のため傾聴技術等あらためて学習する機会となりました。
- 緩和ケアの全体的な話から医療的な実践の話まで幅広く伺えたのでとても勉強になりました。
- 今まで勉強したことのない事柄を学ぶことができ良かったです。大学の薬学部の授業では薬にスポットライトを当ててレスキュードーズの使い方等を学ぶことが多かったのですが、今回のように全人的苦痛の中でもスピリチュアルペインの定義、患者様に寄り添う為には傾聴の姿勢で常にいることが重要、ということ等患者様の精神的な面も少し理解できたことで服薬指導時の患者様との向き合い方も変わってくるかと思います。
- 先生から傾聴の必要性について何うと考えていなかったため、とても新鮮でした。大事にしなければいけない視点だと感じました。
- 傾聴の技術・「困った」時の対処方法等々、明日から実践できることが多く、とても学びの深い研修でした。また、資料も大変解りやすく貴重な参考書になりました。ありがとうございました。
- 沢山の貴重なお話が聴けてとても勉強になりました。是非また、掘り下げたお話もお聞きしてみたいと感じました。
- 研修内容は、理解しやすく、日常の仕事に結びつきやすかった。その他の部分として、通信環境の改善に期待します。
- 緩和ケアの考えかたが分かりました。寄り添うことの重要性痛感しました。
- 緩和ケアの基本から実際の関わり方、ホスピスの医療の考え方など広い内容のお話で大変勉強になりました。緩和の時期にある方に対して医療専門のスタッフの中でケアマネジャーとしてできることは少ないのではないかと感じるが多かったのですが、傾聴の技術やスピリチュアル面への関わり方など支援のあり方についても理解を深めることができました。もっと金井先生のお話をお聞きしたかったです。ありがとうございました。
- 研修会では、緩和ケアについて幅広く学ぶことができました。患者さんの訴えの中で薬を使うべきものか、精神的なケアで症状が落ち着くのか判断は難しいのだと思いました。患者さんの1つ1つの思いに寄り添うことが大切と感じました。